

栃木県立足利清風高等学校／足利市、NPO法人足尾歴史館が ふるさとしょう 平成28年度「手づくり郷土賞（一般部門）」を受賞しました



今年度で31回目の開催となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」（国土交通大臣表彰）において、栃木県内では栃木県立足利清風高等学校高校／足利市、NPO法人足尾歴史館の2団体の取り組みが認定されました。

また、平成29年1月22日に開催された「手づくり郷土賞グランプリ2016 ～磨いて光った 郷土（ふるさと）自慢～」において、会場参加者の投票により栃木県立足利清風高等学校がベストプレゼン賞に決定しました。

これを受けて、平成29年2月23日に渡良瀬川河川事務所において、受賞された2団体に對する「手づくり郷土賞認定証」の授与および「ベストプレゼン賞」の表彰を執り行いました。

一般部門受賞／ベストプレゼン賞

足利の魅力再発見！ ～高校生のロケツーリズム～

栃木県立足利清風高等学校／足利市

「映像のまち構想」を掲げている足利市では、市内のいたる所でロケが行われている。

足利清風高校ビジネス研究部では、若年層の観光客を誘客するため、「ロケ地」という新たなツールを活用して、観光ガイドマップ『あし恋MAP』を作成した。また、作成したマップに基づいたロケ地巡りツアーを開催し、高校生自身が観光ガイドに挑戦するなど、足利市の魅力を内外に発信し、地域の活性化に貢献している。



一般部門受賞

日本の近代化を支えた足尾の 産業遺産等を活用した地域おこし

NPO法人 足尾歴史館

NPO法人足尾歴史館は、足尾地域の歴史・文化の普及と継承を図り、地域の振興に寄与することを目的に設立された団体である。

足尾の歴史に関する資料館を運営しているほか、昔、足尾の町中を走っていた「ガソリンカー」を復元し、毎月第一週の土日に、試乗会を開催したり、地元のわたらせ渓谷鐵道と連携したイベントを開催するなど、地域の活性化に貢献している。



第18回砂防関係工事安全施工研究発表会が開催されました

～最優秀賞を渡良瀬川河川事務所推薦「中村土建(株)村野聡紀さん」が受賞～



《 審 査 結 果 》 (敬称略)

最優秀賞	中村土建(株)	村野聡紀
優秀賞	渡辺建設(株)	高橋将貴
奨励賞	五洋・山田建設	
	共同企業体	中下正勝
奨励賞	風間興業(株)	風間隆二
奨励賞	富士島建設(株)	小宮山竜一
奨励賞	(株)佐藤組	野崎勝也

建設労働災害ゼロを目指して、建設工事現場における安全対策はこれまで以上に重要な課題となっています。平成8年12月6日に新潟県と長野県の県境に位置する蒲原沢の工事現場で土石流災害が発生し、多くの方の尊い命が失われました。

この災害を契機に、安全施工技術のさらなる向上を目指して、平成11年度より「砂防関係工事安全施工研究発表会」を実施しており、今年度は平成29年2月10日(金)にさいたま新都心合同庁舎2号館で開催されました。

自然環境の厳しい砂防工事現場は、その安全対策が各現場ごとに千差万別で、それぞれの現場で培った創意工夫を共有することが重要であります。

当日は工事関係者約140名が出席する中、関東地方整備局管内の砂防関係4事務所の各安全協議会及び東京都、山梨県から選出された6課題について、各工事の現場代理人等が工事現場での安全対策について発表しました。

審査は、関東地方整備局企画部工事品質調整官、河川部河川保全管理官、厚生労働省埼玉労働局労働基準部主任地方労働衛生専門官、国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ長と砂防関係4事務所長の8名により、現場における安全対策やその効果と有益性について審査が行なわれました。(結果は、上記のとおり)

また、特別講演として「近年の災害からの教訓」と題して一般社団法人全国治水砂防協会岡本理事長より講演が行われました。



【中村土建(株)村野さんの発表の様子】



【会場の様子】

(担当：工務課)

サケの稚魚の一斉放流会を開催しました

2月19日（日）、足利市岩井町の渡良瀬川河川敷で、渡良瀬漁業協同組合の山野井組合長を講師に迎え、サケの稚魚の一斉放流会を開催しました。

このサケの放流会は、渡良瀬川にサケを呼び戻すための取り組みとして平成13年度から始まったもので、今年度で16回目の開催となりました。



【山野井組合長によるサケのお話】

放流会当日は天候にも恵まれました。昨年12月4日（日）に実施した受精卵の配布に参加された方も含め、約450名もの大勢の方々が参加されました。参加者の皆さんは河川敷に並んで一斉にサケの稚魚を放流し、サケの稚魚は元気良く川の中へ泳いでいきました。



【育てたサケの稚魚を放流】

サケの稚魚はこれから4年ほどの時間をかけ、幾多の試練を乗り越えて生まれ育った川に戻ってきます。実際に川に戻って来ることができるサケはごくわずかといわれていますが、多くの稚魚が、数年後、大きくなって無事に渡良瀬川に戻って来ることを願っています。

わたらせ 川のふれあい館「せせら」のご利用案内

所在地：栃木県足利市岩井町465-1 渡良瀬グリーンプラザ3階
 開館時間：平日・休日ともに 10:30~16:00（4~6月・9~3月）
 平日・休日ともに 9:30~16:45（7~8月）

入館料：無料

駐車場：あり

休館日：毎週月・木曜日（祝日の場合は翌日）
 ※7~8月の休館は木曜日のみ
 年末年始（12月29日~1月3日）

TEL & FAX：0284-44-3001

■電車でお越し越しの場合

JR両毛線 足利駅より徒歩20分
 東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩25分

■お車でお越しの場合

東北自動車道 佐野藤岡ICより約35分
 北関東自動車道 足利ICより約15分



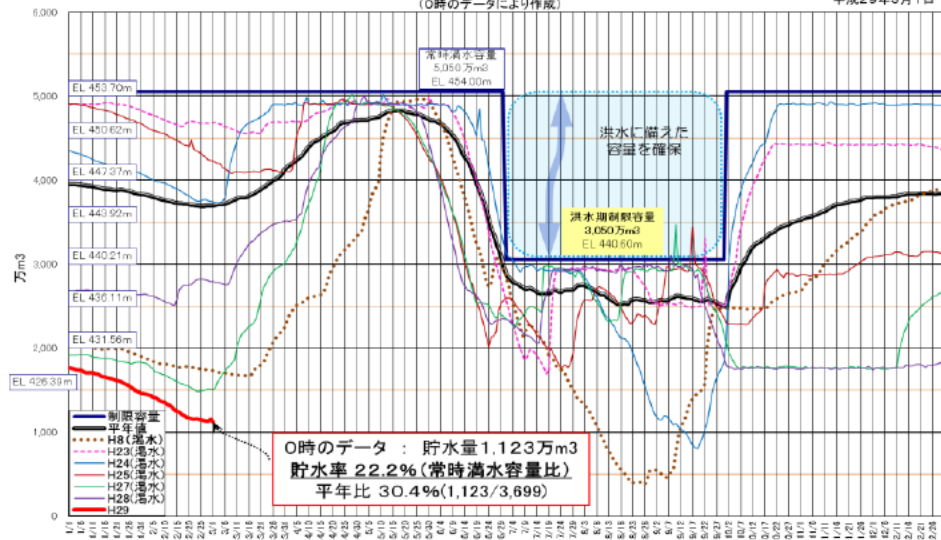
節水にご協力をお願いします

2月の渡良瀬川流域（渡良瀬遊水地から上流域）の降水量は11.2ミミで、平成19年から平成28年までの平均降水量と比べ約30.4%の小雨となっています。また、3月1日0時現在の草木ダム貯水量は1,123万m³（貯水率22.2%）で、過去の同時期に比べて最低の貯水位となっています。

草木ダム貯水量

（0時のデータにより作成）

平成29年3月1日



今後の気象庁1ヶ月予報でも降水量は少ない見込みとなっており、さらに草木ダム貯水量が少なくなる恐れがあります。

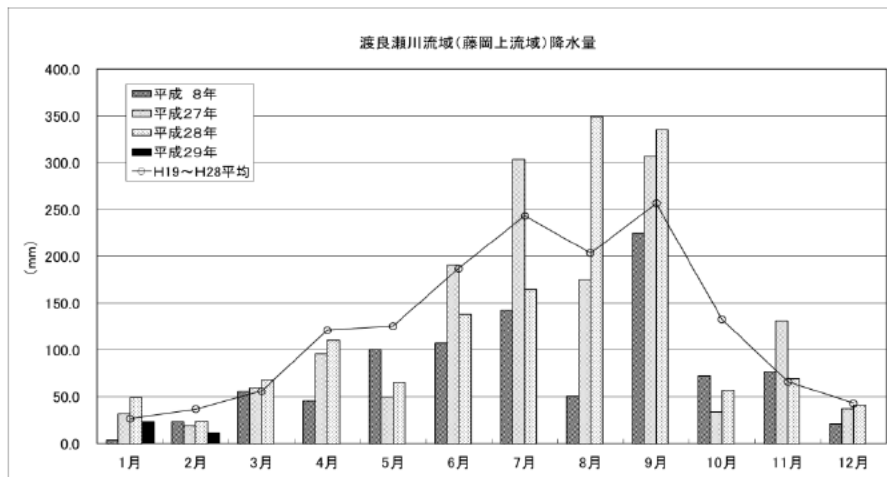
皆様におかれましては、節水にご協力をお願いします。



【草木橋上流】

草木ダム貯水状況（2月27日時点）

渡良瀬川流域（藤岡上流域）降水量



紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」から投稿していただけます。電話・FAXは下記番号へ、郵便の場合は下記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」あてでお願いします。



国土交通省関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所

〒326-0822

栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEL: 0284(73)5551

FAX: 0284(73)8504

川の防災情報

リアルタイムの雨量と

水位を知りたい時は

<http://i.river.go.jp>



【案内図及び連絡先】



総務課	0284(73)5551
経理課	0284(73)5552
用地課	0284(73)5553
工事課	0284(73)5554
調査課	0284(73)5558
砂防課	0284(73)5559
管調課	0284(73)5557
佐野河川出張所	0283(21)6810
桐生出張所	0277(44)3724
足利出張所	0284(71)2202
大間々砂防出張所	0277(72)1664
足尾砂防出張所	0288(93)2151